

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 モジュール株式会社

コード番号 3043 URL <http://www.modulat.com>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 松村 明

問合せ先責任者 (役職名) 財務・経企責任者

(氏名) 小田 真理

TEL 03-3454-2061

四半期報告書提出予定日 平成26年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	819	△9.6	51	△18.6	47	△66.1	30	△73.7
26年3月期第2四半期	905	21.6	63	380.9	141	75.0	116	65.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.38	—
26年3月期第2四半期	84.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,713	470	27.5
26年3月期	1,628	460	28.3

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 470百万円 26年3月期 460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	4.2	160	13.8	160	△26.4	102	3.4	74.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	1,370,000 株	26年3月期	1,370,000 株
27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
27年3月期2Q	1,370,000 株	26年3月期2Q	1,370,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益は改善に足踏みがみられ、個人消費も持ち直しの動きが続いているもののこのところ足踏みがみられるなど、一部に弱さは見られるが緩やかな回復基調が続いております。当面、雇用・所得環境の改善が続く中で、一部に弱さが残るものの、緩やかに景気回復して行くことが期待されておりますが、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、「本業である企業向けの継続的ITサービスへの集中」、「継続的な大型案件の獲得」、「新サービスの利益貢献できる基礎の確立」、「チーム力強化」、「オリジナリティの徹底追及」などに取り組んでまいりました。

#### ・ITサービス売上

当社の本業である「継続的ITサービス」の売上は、ほぼ計画通りで順調に推移し、「一時的ITサービス」の売上は商品売上の若干減に伴う作業案件等の減少により、堅調に推移しました。その結果、「ITサービス」全体の売上高は、575,548千円（前年同期比2.9%減）となりました。

#### ・商品売上

商品売上は、設備投資は増加傾向にあるものの弱い動きもみられ、一部の案件で若干の後ろ倒しが発生して下期にずれ込む等、イレギュラーな状況が発生しました。その結果、243,678千円（前年同期比22.2%減）となりました。

当第2四半期累計期間の新規顧客獲得数は、15社（内、大手企業又はその子会社様が5社、ITサービスの契約があった顧客8社。）を獲得することが出来ました。その内、新サービス関連部門では、新規顧客5社（内、大手企業又はその子会社様が3社。）を獲得し、着実に実績をあげております。

なお、営業利益と比較して、経常利益及び四半期純利益の前年同期比の減少幅が大きい理由は、前年同期は第1四半期に貸倒引当金の一部を取り崩したことにより、例外的に76百万円超の貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したため、経常利益及び四半期純利益が増加していたためです。

以上により、当第2四半期累計期間の業績は、売上高819,227千円（前年同期比9.6%減）、営業利益51,759千円（前年同期比18.6%減）、経常利益47,974千円（前年同期比66.1%減）、四半期純利益30,666千円（前年同期比73.7%減）となりました。

なお、当社の事業はITアウトソース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の分析)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,713,136千円となり、前事業年度末に比べ84,596千円の増加となりました。その主な要因は、固定資産の減価償却や保険積立金の減少等があったものの、現金及び預金や投資有価証券の増加等によるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ73,968千円増加し、1,242,417千円となりました。これは、買掛金及び短期借入金等の減少があったものの、未払金、前受金、長期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産は470,719千円となり、前事業年度末に比べ10,627千円増加しました。これは、主にその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末と比較して0.8ポイント低下し、27.5%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は453,063千円となり、前事業年度末と比較して、141,247千円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、49,006千円（前年同期は77,815千円の獲得）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額59,994千円、仕入債務の減少額144,476千円等があったものの、税引前四半期純利益47,974千円、減価償却費54,135千円、売上債権の減少額129,088千円、前受金の増加額56,934千円等があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4,577千円（前年同期は75,118千円の使用）となりました。これは主に保険積立金の解約による収入9,623千円等があったものの、有形固定資産の取得による支出13,926千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、96,818千円(前年同期は93,029千円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額135,000千円の減少、長期借入金の返済による支出423,635千円等があったものの、長期借入れによる収入680,000千円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想数値につきましては、平成26年5月9日公表時から変更しておりません。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。また、変更があった場合には速やかに開示を行います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	391,816	533,063
売掛金	308,267	179,178
商品	64,785	121,805
仕掛品	654	3,628
リース投資資産	89,198	90,235
繰延税金資産	22,285	8,133
その他	53,421	66,562
貸倒引当金	△4,911	△3,970
流動資産合計	925,518	998,638
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産(純額)	268,239	252,719
その他(純額)	9,718	11,800
有形固定資産合計	277,958	264,519
無形固定資産		
ソフトウェア	84,793	77,042
貸貸用資産	167,026	150,644
無形固定資産	251,819	227,686
投資その他の資産		
投資有価証券	27,490	134,521
長期貸付金	175,337	157,337
その他	127,753	87,770
貸倒引当金	△157,337	△157,337
投資その他の資産合計	173,243	222,291
固定資産合計	703,021	714,497
資産合計	1,628,540	1,713,136
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	238,794	94,317
短期借入金	135,000	—
1年内返済予定の長期借入金	296,198	247,728
未払金	47,654	136,397
未払法人税等	16,099	1,464
前受金	181,682	238,616
賞与引当金	7,000	2,543
保険積立金解約損失引当金	38,462	—
製品保証引当金	8,780	—
その他	10,095	25,077
流動負債合計	979,766	746,145
固定負債		
長期借入金	188,683	493,518
その他	—	2,754
固定負債合計	188,683	496,272
負債合計	1,168,449	1,242,417

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	31,558	31,558
利益剰余金	167,356	173,363
株主資本合計	453,135	459,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,955	11,577
評価・換算差額等合計	6,955	11,577
純資産合計	460,091	470,719
負債純資産合計	1,628,540	1,713,136

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	905,782	819,227
売上原価	662,221	570,236
売上総利益	243,560	248,990
販売費及び一般管理費	179,938	197,231
営業利益	63,622	51,759
営業外収益		
受取利息	3	367
受取配当金	177	200
受取手数料	2,552	1,920
貸倒引当金戻入額	76,662	—
物品売却益	—	697
その他	3,809	538
営業外収益合計	83,206	3,723
営業外費用		
支払利息	5,042	6,049
その他	82	1,458
営業外費用合計	5,125	7,507
経常利益	141,702	47,974
特別損失		
固定資産除却損	18	—
特別損失合計	18	—
税引前四半期純利益	141,684	47,974
法人税、住民税及び事業税	19,891	507
法人税等調整額	5,359	16,801
法人税等合計	25,251	17,308
四半期純利益	116,433	30,666



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	141,684	47,974
減価償却費	71,147	54,135
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△76,758	△941
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,006	△4,456
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△8,780
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△13,538	△3,514
受取利息及び受取配当金	△181	△567
支払利息	5,042	6,049
為替差損益(△は益)	△3,639	877
固定資産除売却損益(△は益)	18	—
売上債権の増減額(△は増加)	13,092	129,088
たな卸資産の増減額(△は増加)	42,486	△59,994
前払費用の増減額(△は増加)	△28,379	△10,743
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,074	△144,476
未払金の増減額(△は減少)	△10,296	△7,700
前受金の増減額(△は減少)	77,594	56,934
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,299	15,117
その他	△36	△697
小計	119,866	68,305
利息及び配当金の受取額	181	567
利息の支払額	△5,404	△5,012
法人税等の支払額	△36,827	△14,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,815	49,006
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,862	△13,926
無形固定資産の取得による支出	△92,875	△2,637
投資有価証券の取得による支出	△884	△928
貸付金の回収による収入	—	9,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△500
保険積立金の積立による支出	△1,329	△5,208
保険積立金の解約による収入	24,833	9,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,118	△4,577
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△135,000
長期借入れによる収入	—	680,000
長期借入金の返済による支出	△71,072	△423,635
配当金の支払額	△21,957	△24,546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,029	96,818
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,332	141,247
現金及び現金同等物の期首残高	163,400	311,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,068	453,063

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。